

3月28日（火）金沢ニューグランドホテルにて、第1506回通常例会が開催されました。

始めに、紺谷 L.と草野 L.から葬儀へのお参りに対して、お礼の言葉がありました。松尾会長の挨拶では、桜がほぼ満開になり、春らしい良い気候になりました。本日の講話のSDGsは見



せかけやきれいごとで終わらせてはならないもので、本質を見極め、何をしなければならないのか考えなくてはなりません。

今日は、障害者にスポットを当ててお話ししたい。以前、障害児を親が殺害した事件でたくさんの減刑の嘆願があったことが

ありました。これは視点を変えれば、障害者は殺されても仕方がないと捉えることもできます。

障害をもたれている方から見れば、こういうことは絶対に許されないことです。普通の人と同じように刑罰を与えてほしいと言われます。

屋久島の縄文杉は7000年以上たっていますが、ただの木です。そこに価値を見出すのは人間です。障害児が何の価値もないというのではなく、価値を見出せない能力のない人がいるからです。多角的に見て、社会に問題がありますが、いろいろな視点で考えながら、これから奉仕活動をしていきたいと思えます。

「なぜ人と人は支えあうのか」という本から、人は誰かの役に立つことで、自分の存在意義を見出す生き物であると言われ挨拶を締めました。

報告事項では三浦 L.から卯辰山マナーアップ清掃で当クラブから5名参加の報告がありました。



本日のゲストスピーカーは行政書士法人スマイル 出見世雅之様より「SDGsは経営に役に立つ」の題で講話をいただきました。

SDGsとは「Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）」の略称です。

2015年9月25日に国連で採択されました。つまり全世界の共通目標です。

17個の大きな目標があり、環境、社会、経済の3つの大きな柱で構成されています。

「17のパートナーシップで目標を達成しよう」はLCに当てはまると思います。



経団連も行動憲章を7年ぶりに改訂し、SDGsの推進を明言しました。

金融機関はSDGsをしている企業を支援することを国から求められています。中小企業も金融機関と上手に付き合っていくには、必要な施策としてSDGsが有効だと思います。

環境や社会だけではなく、

経済が伴って、我々の世界が持続します。

あちら立てればこちら立たずというように、経済活動を重んじれば、環境問題がおろそかになるのはだめです。経済成長も環境・社会の問題もバランスの取れた状態が必要です。

環境社会の問題を企業が解決しながら、会社経営と社員の幸福度を向上しなければなりません。SDGs経営とは社会に求められる次世代戦略で、本業の収益とSDGs活動がイコールになっている経営のことです。

SDGs経営は6方よしの経営です。従来の「売り手よし」「買い手よし」「世間よし」の3方よしに加えて、「作り手よし（従業員）」「地球よし」「未来よし」が入ります。



「ガソリンスタンドであってもSDGsに貢献できる」ことを実例あげて説明します。

SDGs的視点で考えて、社員のモチベーションを上げている取り組みです。

中小企業のSDGs経営に必要なことは社内の周知徹底です。経営理念と動機付けをSDGsに絡める施策が必要です。

人材育成、社員満足度UPのためにSDGs経営をしてください。SDGs経営は仕事を通して社会とのつながりに気づき、社員の幸せにする取り組みですと講話を終えました。



続いて嶋崎テールツイスターが登場し、WBCの話題から、クラシックの意味は決定戦、その経済効果600億ですと述べられ、続いて、アルファベットの略の問題で楽しませてくれました。

(編集 計画委員会)